

沖縄県第3次がん対策推進計画 の中間評価に向けて

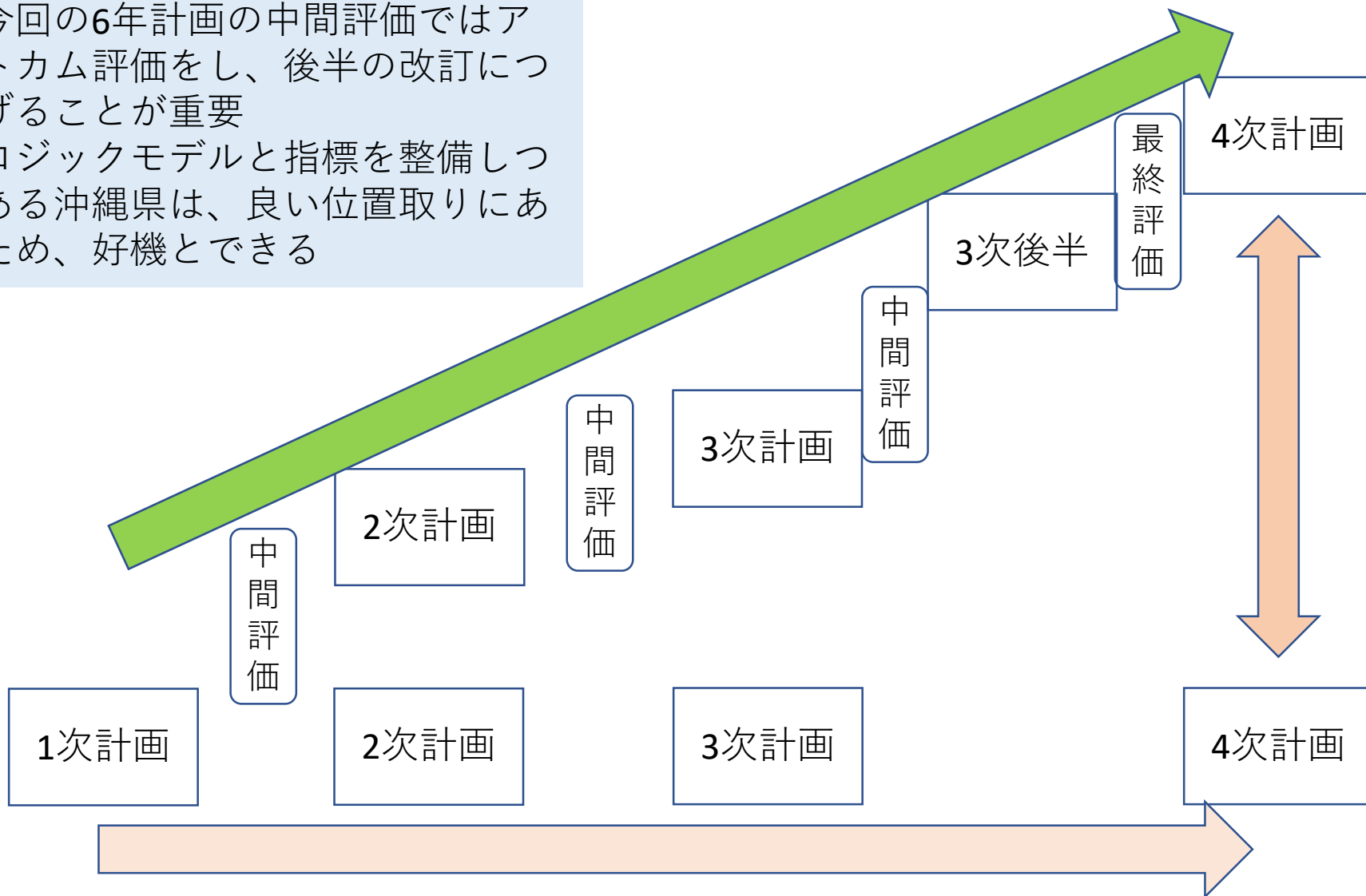
2019年5月13日

沖縄県がん診療連携協議会

埴岡 健一

なぜ、中間評価？

- ・これまでの中間評価は形骸化
- ・中間といいながら後半がなかった
- ・評価がアウトプット評価でアウトカム評価でなかった
- ・今回の6年計画の中間評価ではアウトカム評価をし、後半の改訂につながる**ことが重要**
- ・ロジックモデルと指標を整備しつつある沖縄県は、**良い位置取り**にあるため、**好機**とできる



4つの評価とその関係

- ①なくして②なし。②なくして③なし。③なくして④なし
①②③④すべてOKであってこそ、はじめて意義があることになる

費用労力に割が合わなければ、続けられない

④コストパフォーマンス評価
(費用対効果評価)
* 割があった?

Yes

③インパクト評価
(効果評価)
* やったことが効いたの?

アウトカムが向上し、それは対策のお陰?

Yes

②プロセス評価
(実施評価)
* 決めたことをやった?

妥当なことでもやらなければ効果はない

Yes

①セオリー評価
(論理評価)
* 妥当なことをやることにした?

妥当じゃないことをやっても意味がない

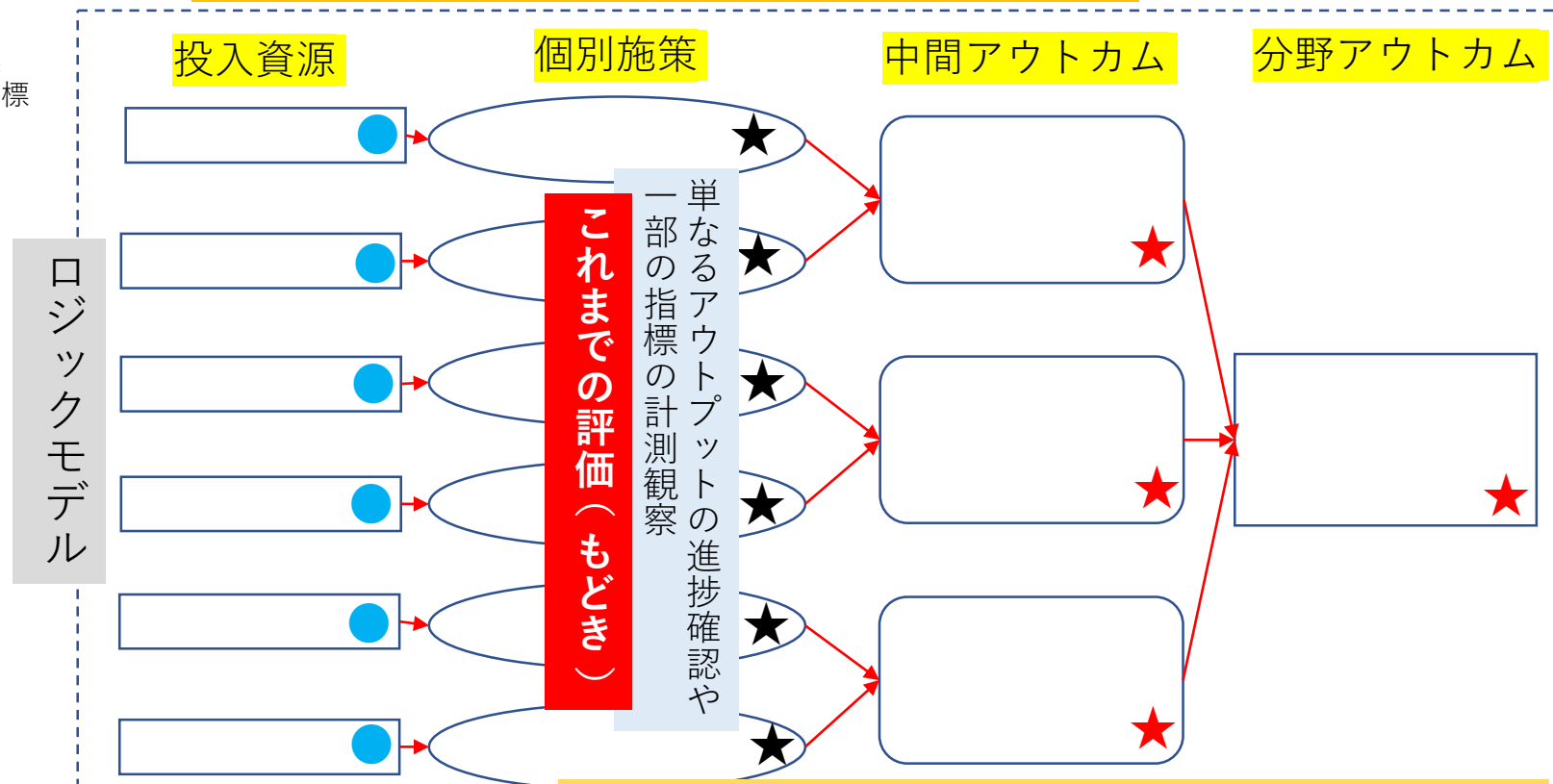
厚労省医療計画通知における「評価」

1 医療体制の政策循環

5 疾病・5 事業及び在宅医療の医療体制を構築するに当たっては、住民の健康状態や患者の状態（成果（アウトカム））などをもって施策の評価を行うことが必要なため、これらを用いた評価を行うことが重要である。具体的には、施策や事業を実施したことにより生じた結果（アウトプット）が、成果（アウトカム）に対してどれだけの影響（インパクト）をもたらしたかという関連性を念頭に置きつつ、施策や事業の評価を1年ごとに行い、見直しを含めた改善を行うこと。都道府県は、この成果（アウトカム）に向けた評価及び改善の仕組みを、政策循環の中に組み込んでいくことが重要である。

これまでの中間評価、これからの中間評価

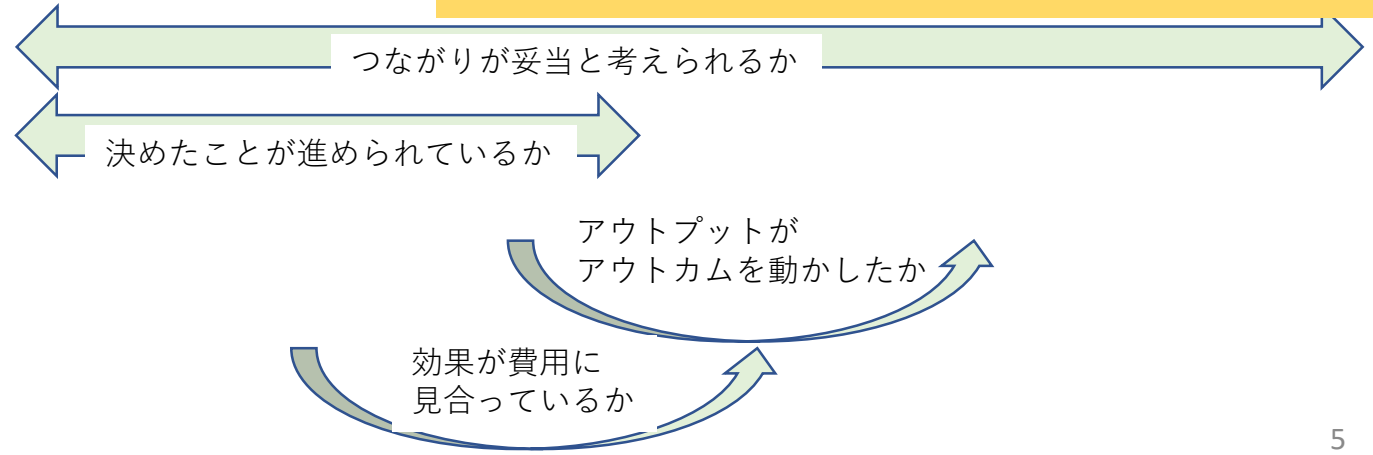
- 凡例
 ★=アウトカム指標
 ★=アウトプット指標
 ●=費用



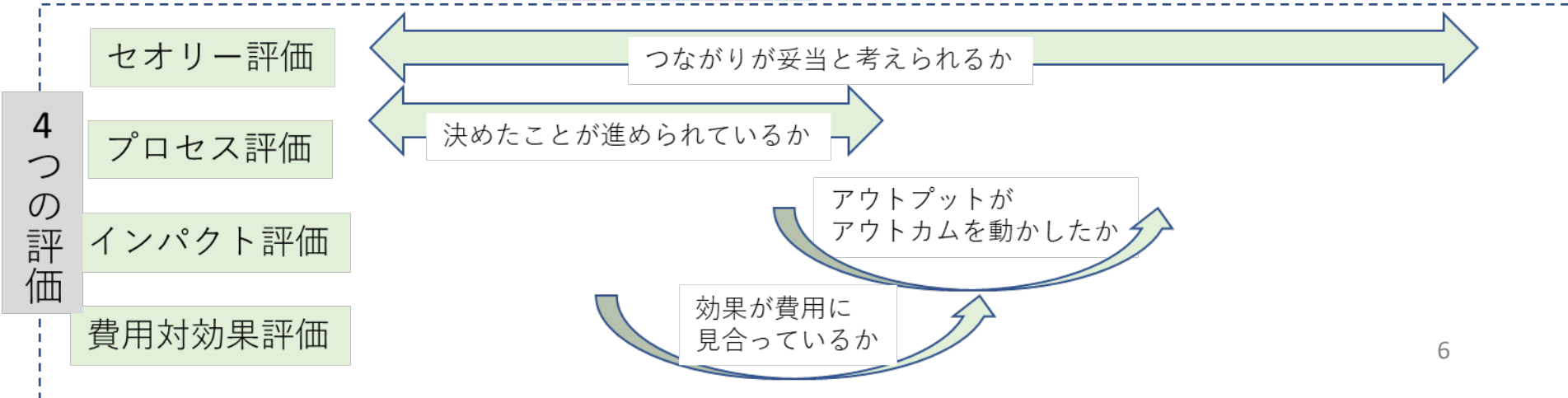
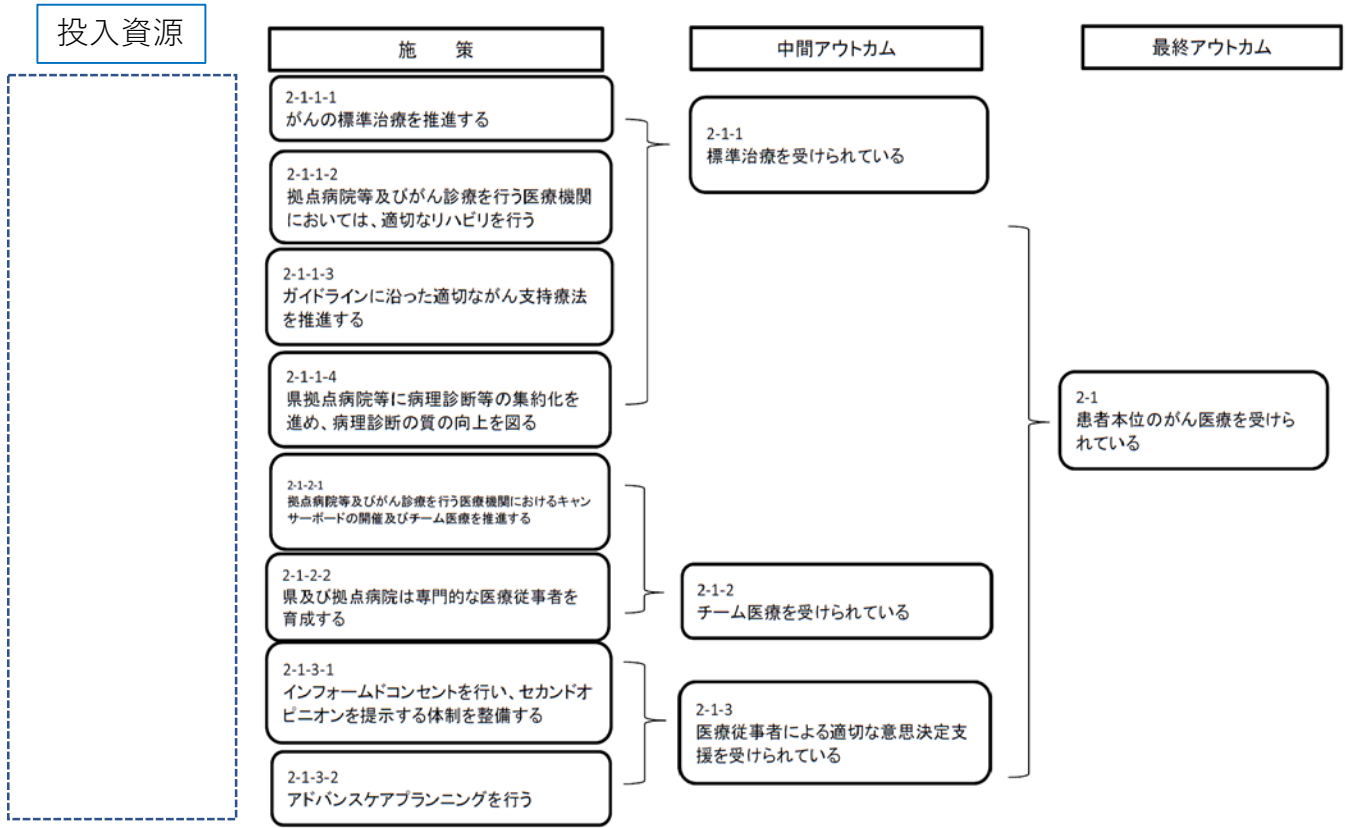
ロジックモデルが存在することが評価の前提となる

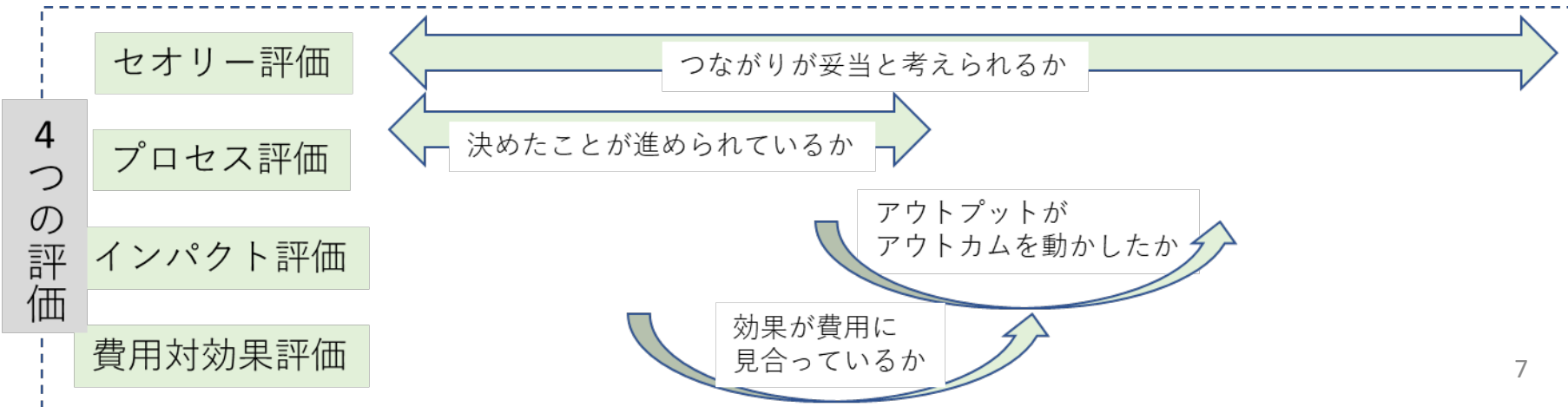
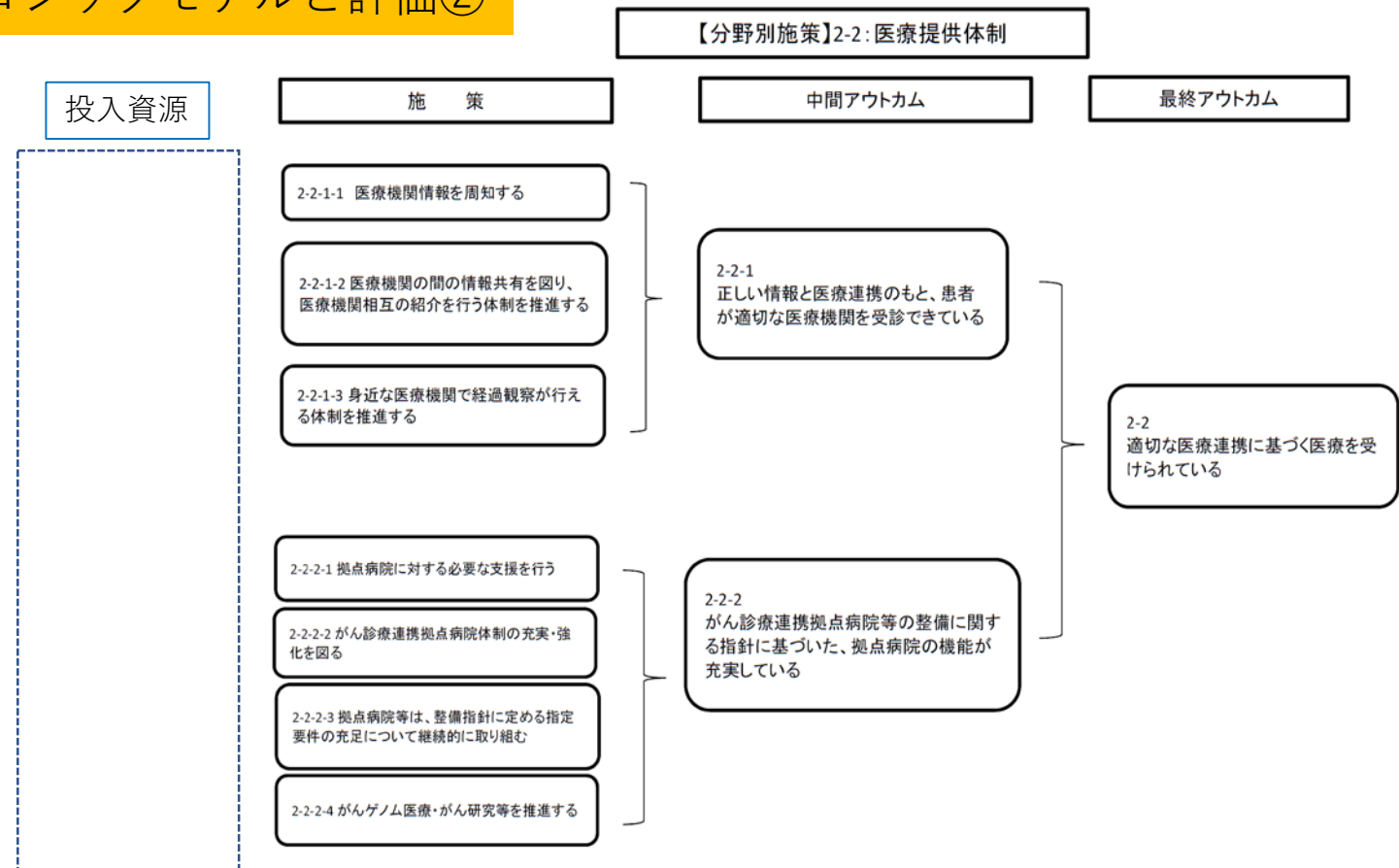
これからの評価

- セオリー評価
- プロセス評価
- インパクト評価
- 費用対効果評価

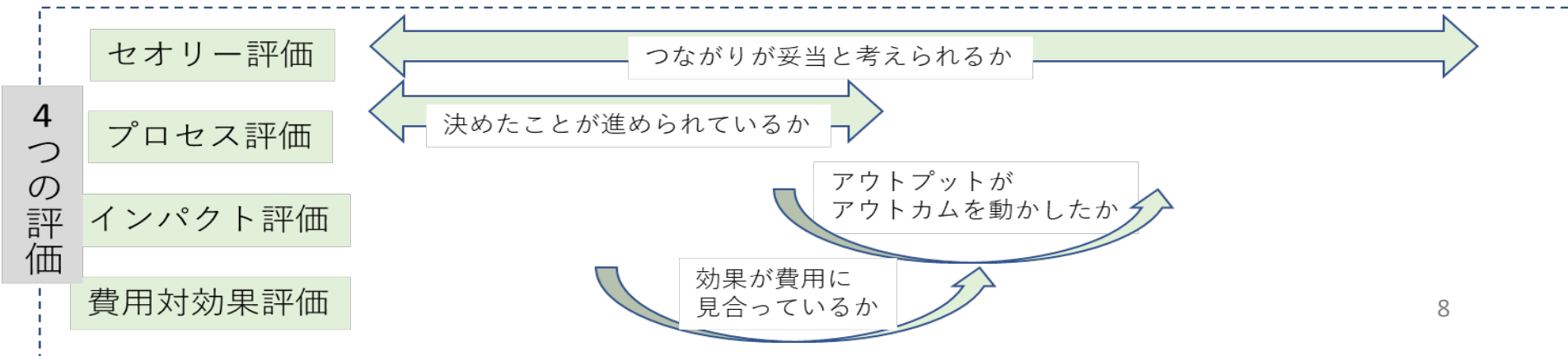
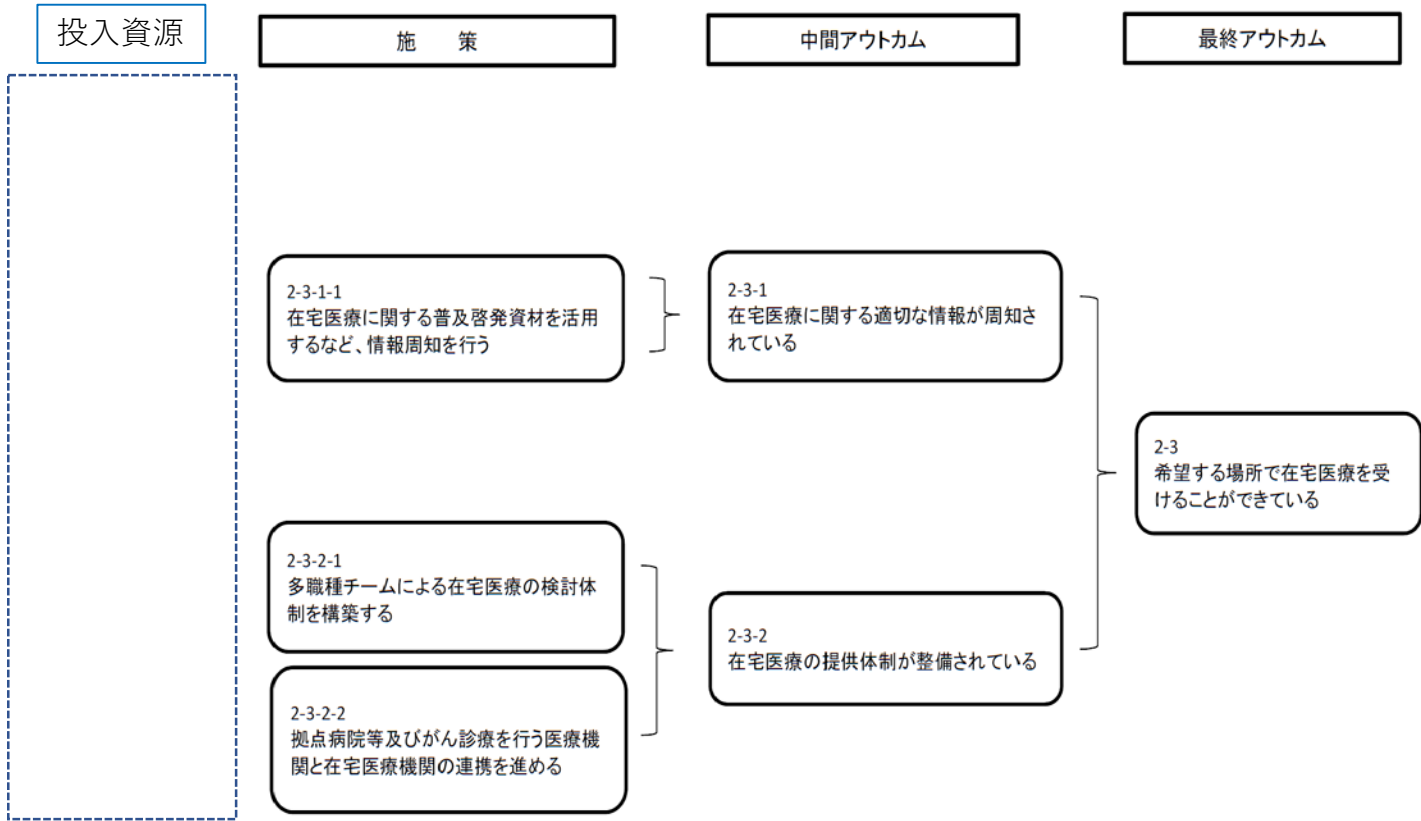


【分野別施策】2-1:がん医療と人材育成

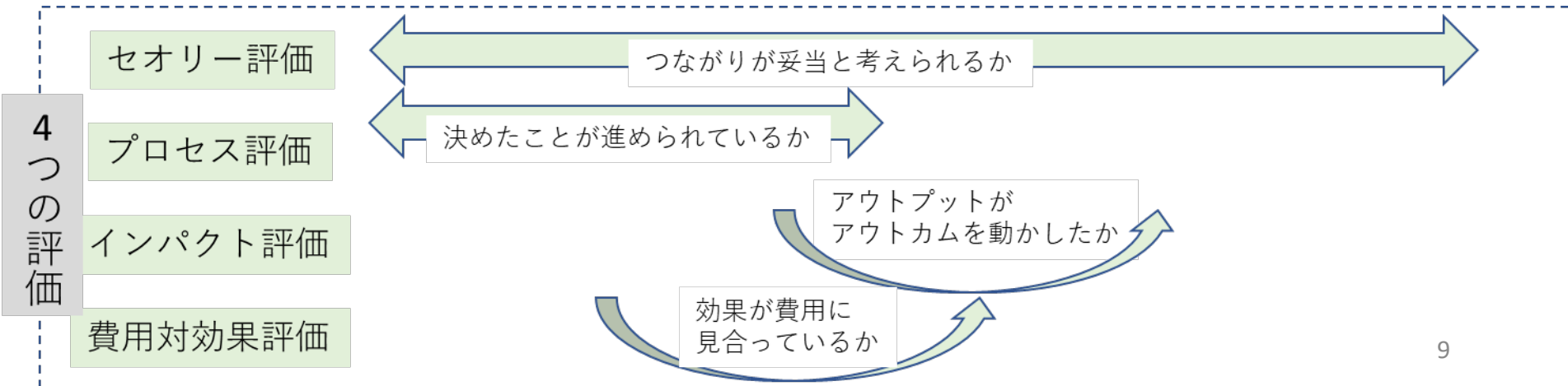
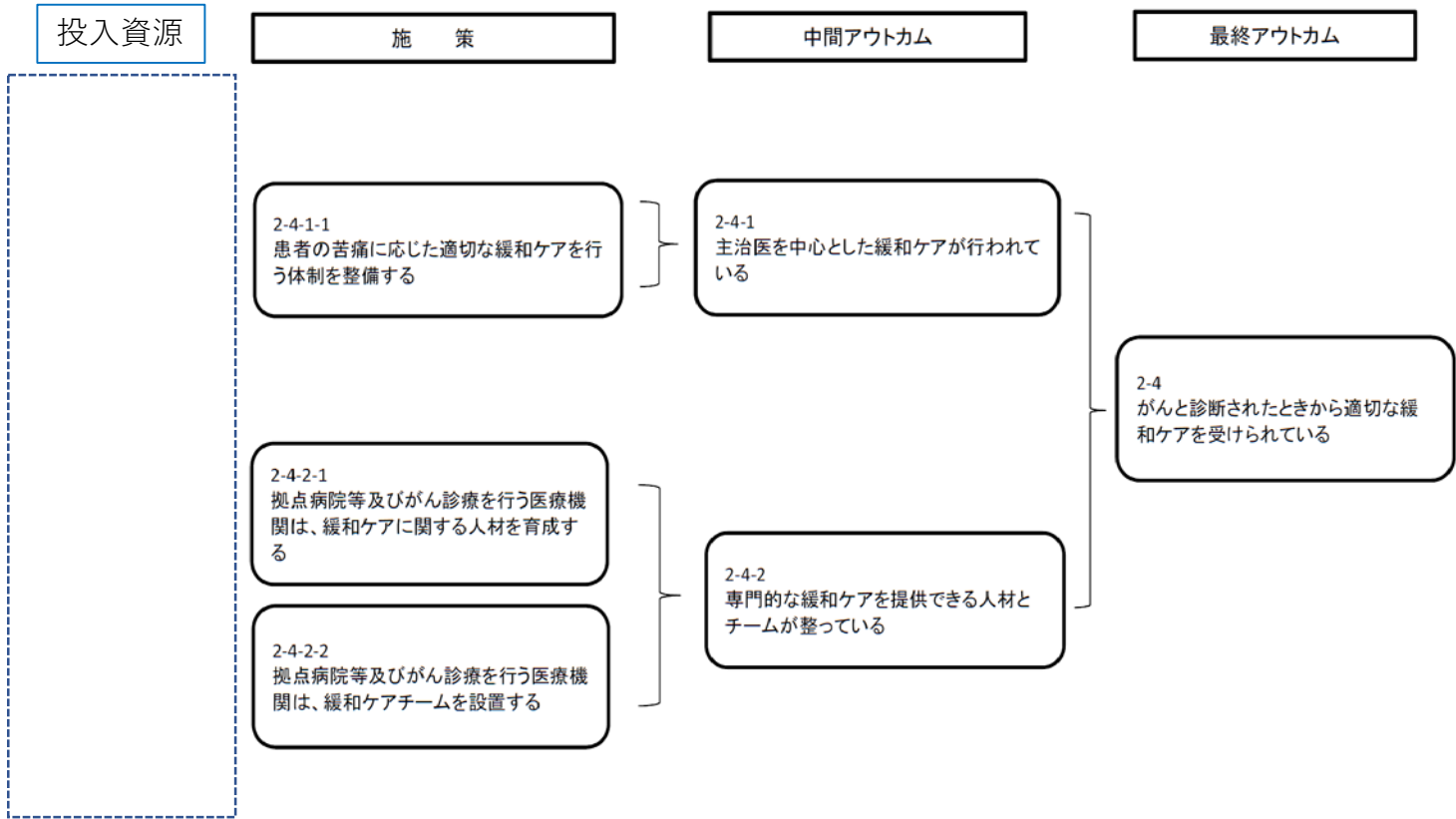




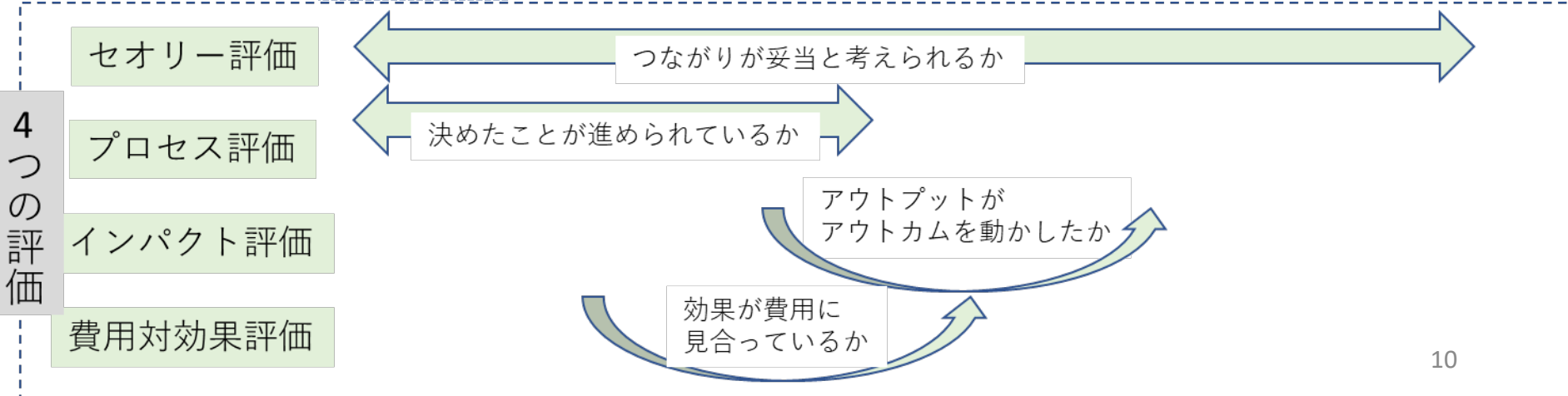
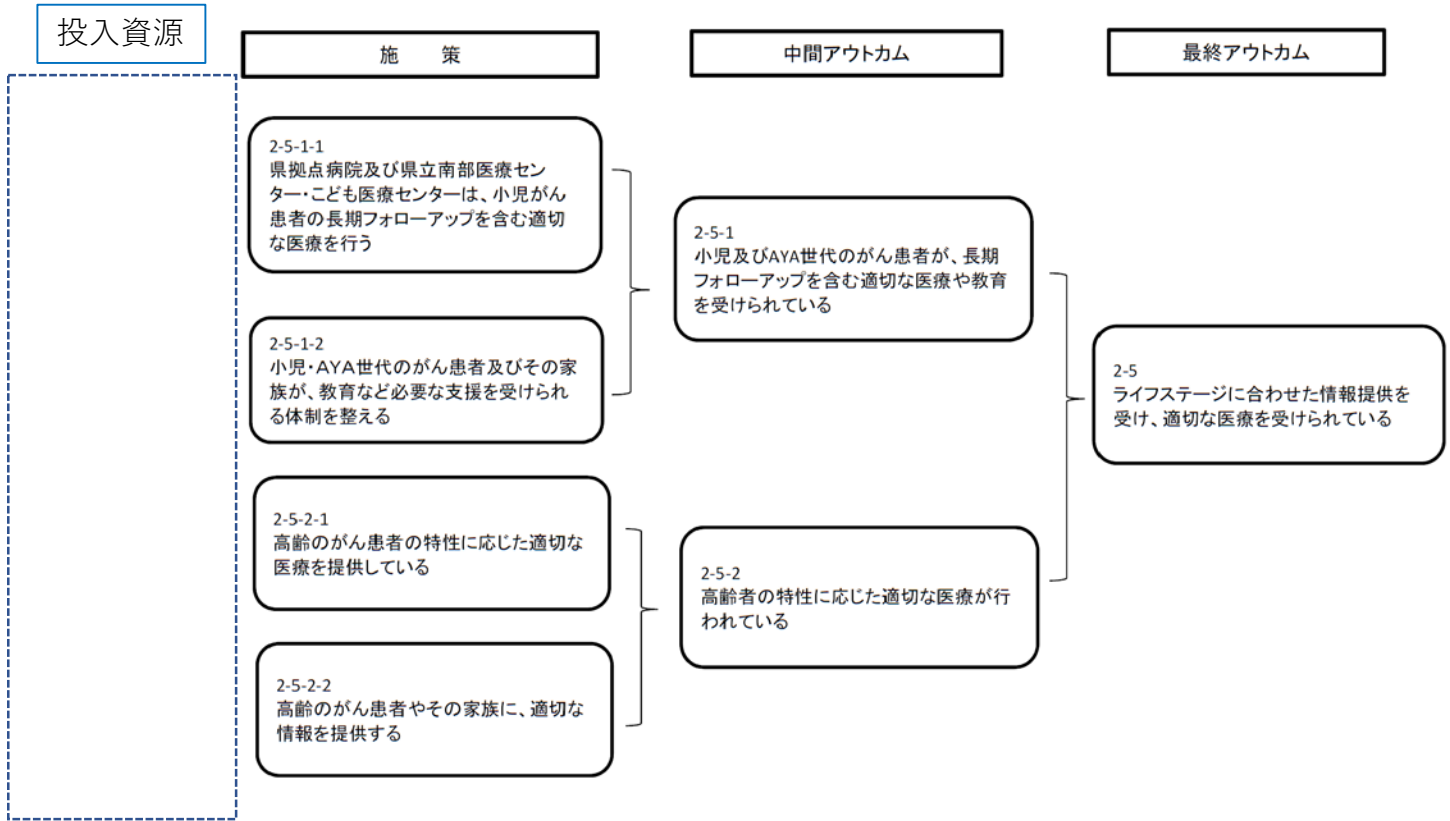
【分野別施策】2-3:在宅医療

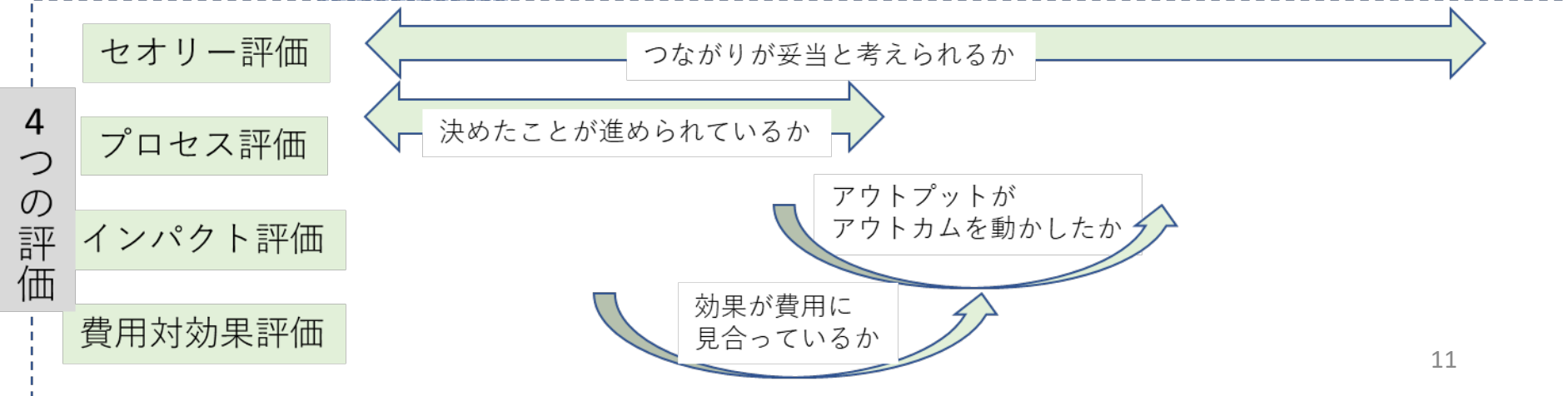
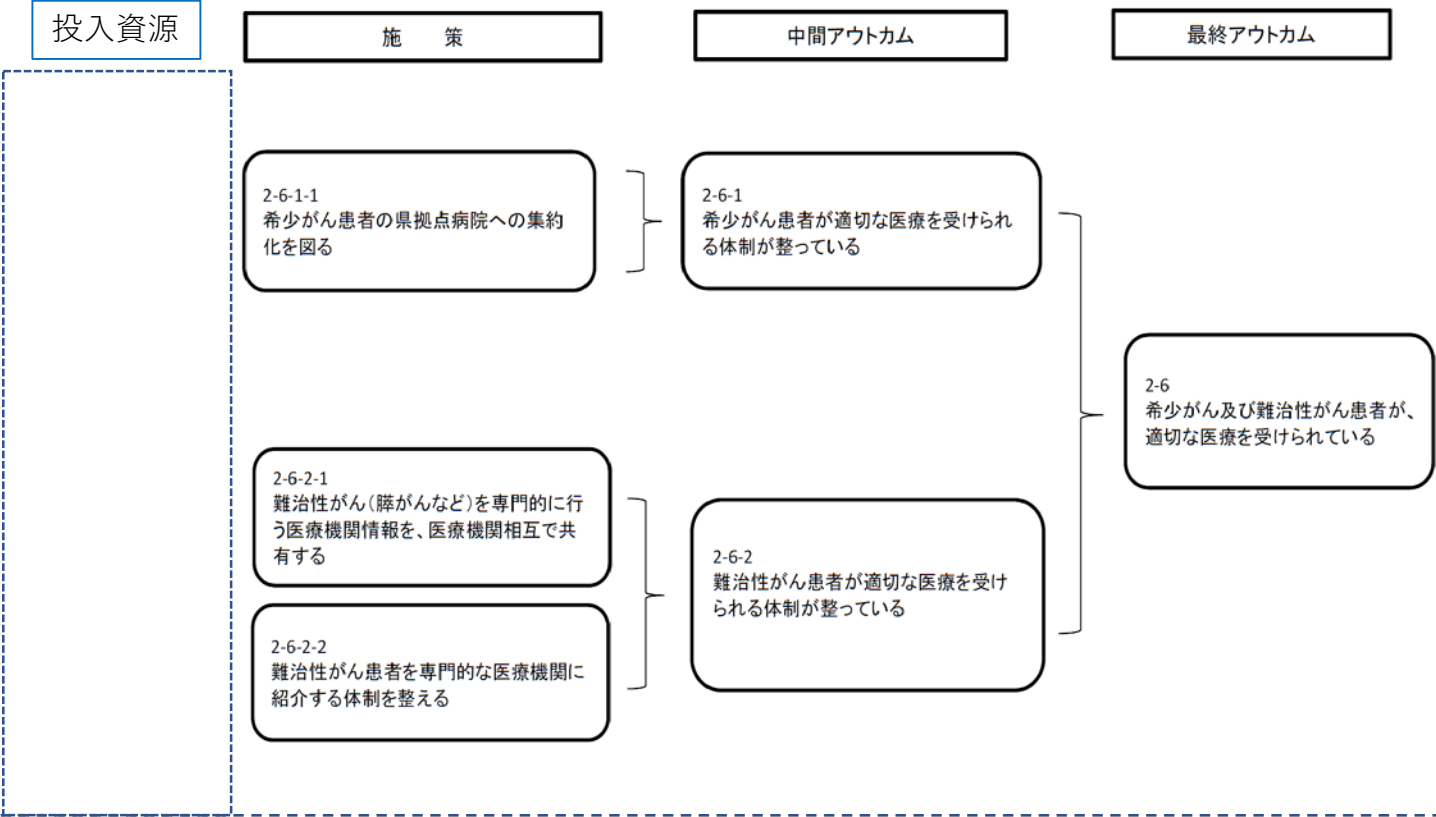


【分野別施策】2-4: 緩和ケア

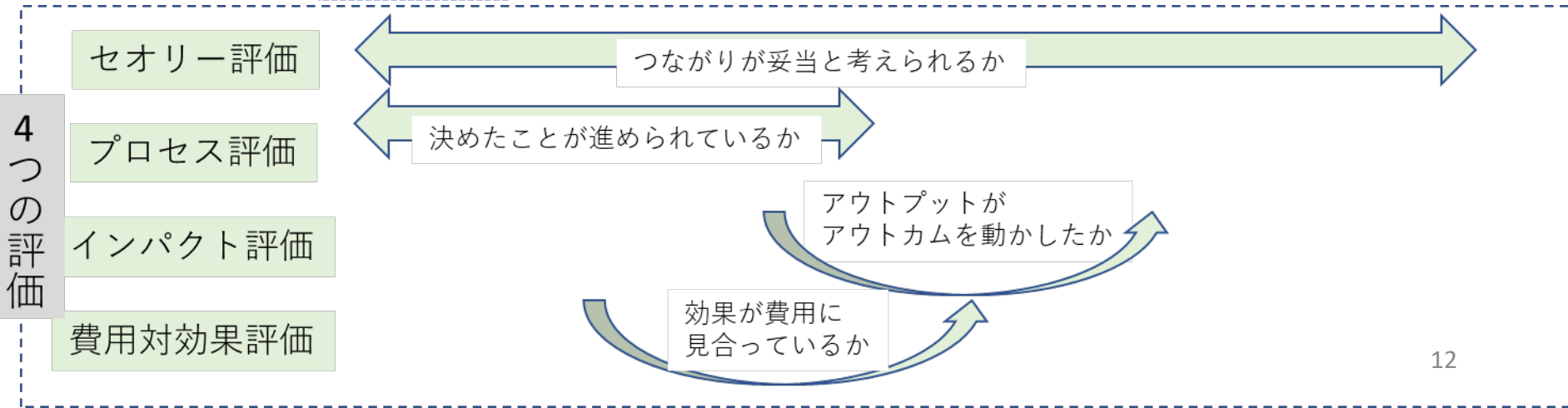
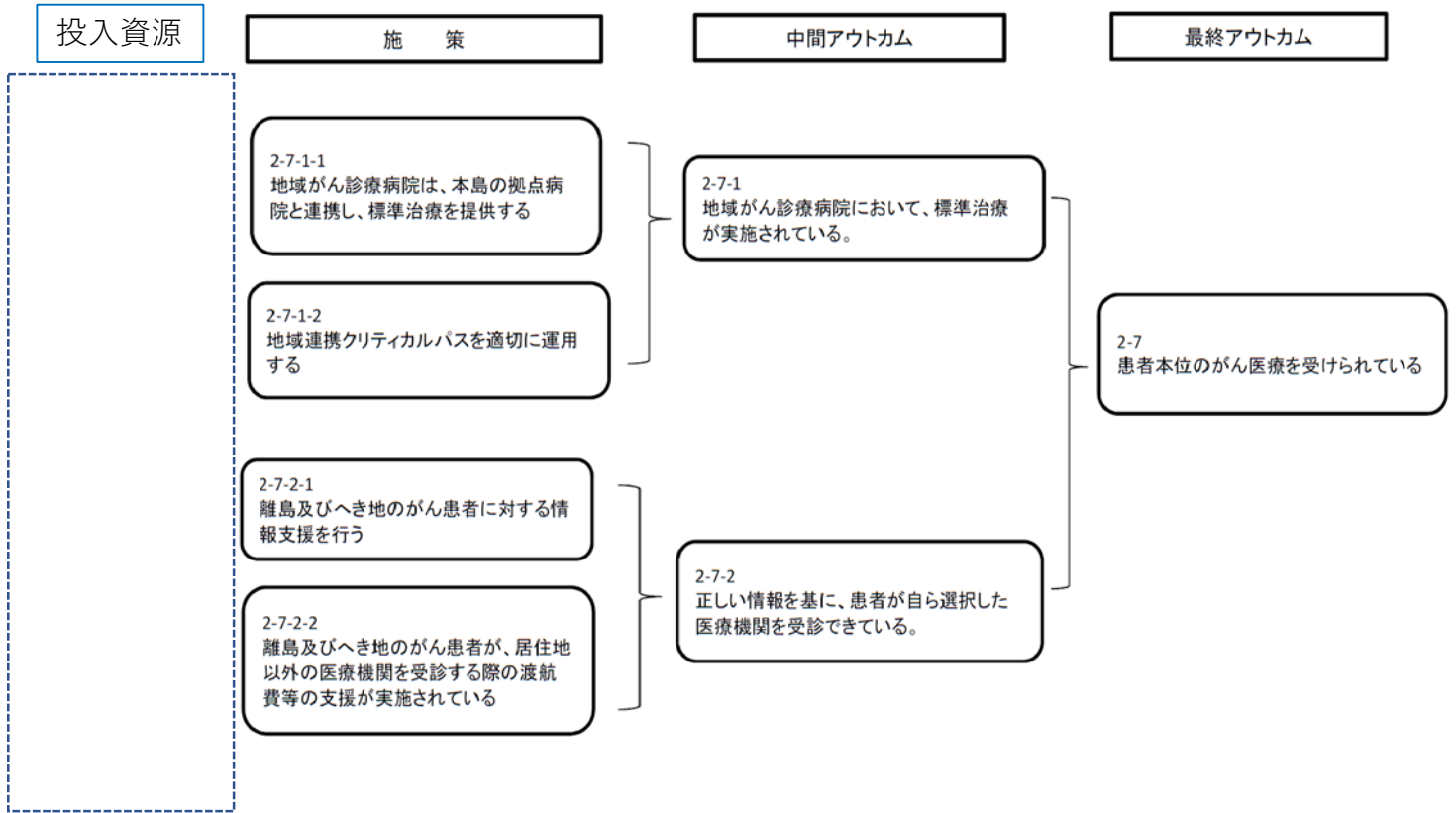


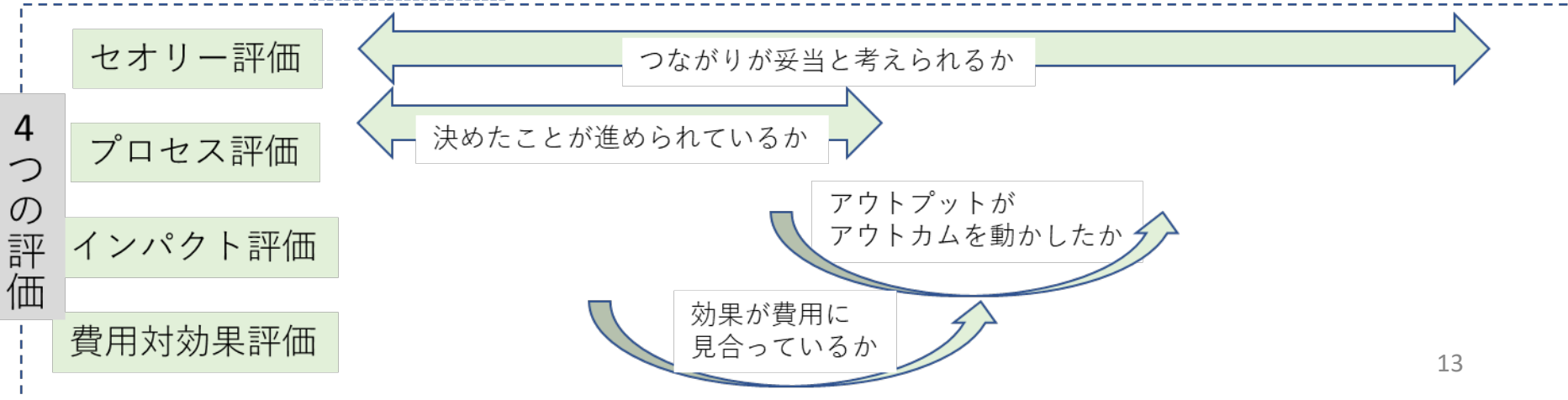
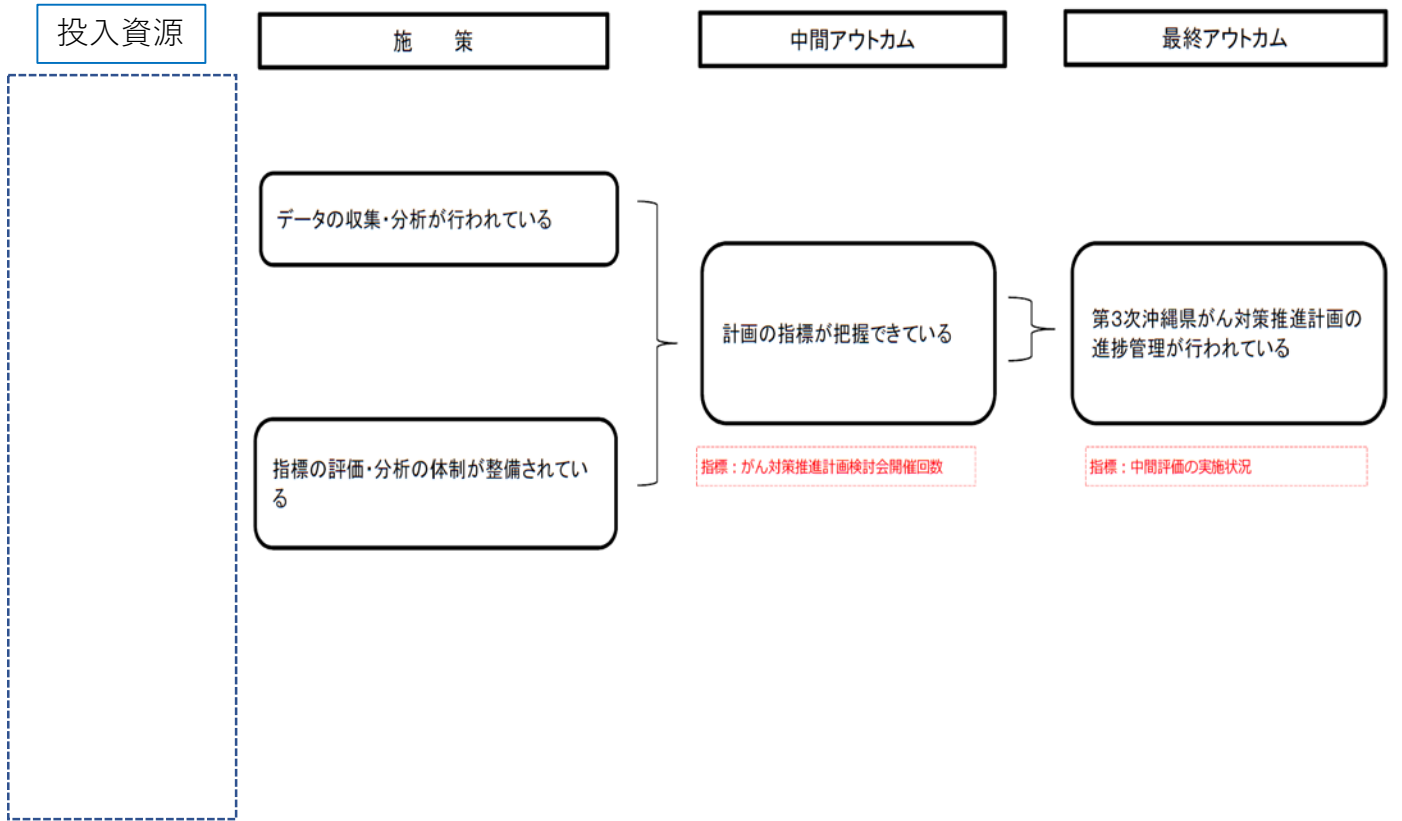
【分野別施策】2-5: ライフステージに応じたがん対策





【分野別施策】2-7: 離島及びへき地





セオリー評価での質問（例）

- 「妥当なことをやっているの？」
- 「目指すべき姿」（アウトカム）がある？
- 中間ゴール（中間アウトカム）を設定した？
- アウトカムの指標を置いた？
- 施策は中間（初期）ゴールに寄与するか？
- 他にもっといい施策はないのか？
- 決めた施策に必要な投入（費用=インプット）が用意できるか？

ロジックモデルの改訂

ロジックモデルでチェックし、いいところ取りを試み、ロジックモデルを改善。
ロジックモデルを作っていない場合は、作成する

プロセス評価での質問（例）

- 「やると決めたこと、ちゃんとやってる？」
- 資源（ヒト・モノ・カネなど）は用意されたか？ 予算確認
- 施策は実施されているか（アウトプットされたか）？ 事業進捗確認
- アウトプット指標は計測されたか？ 事業進捗確認
- 初期アウトカム指標は計測されたか？ 事業進捗確認
- 患者や施策実施関係者はどう感じているか？ ヒアリング
- 上手くいっていないところをどう修正するか？

ヒアリング

インパクト評価での質問（例）

- 「やったことが効いたの？」 データブック、『白書』
- アウトカムとアウトプットの関係は？
- アウトカムは向上しているのか、低下しているのか？ データブック、『白書』
- 他の施策や環境（外部要因）の影響はあるか？
- やったこと（施策）が利いているのか？
- 続ける（強化する）べきか、止めるべきか？

平成 27 年度沖縄県委託事業「がん対策推進計画中間評価検討業務委託事業」

沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）

分析報告書



国立大学法人 琉球大学
(国立大学法人 琉球大学医学部附属病院がんセンター)

平成 28 年 3 月

← 前回の分析報告書

- ・ 中間報告作業として良かった点は？
- ・ やり残したこと（改善余地）は？

沖縄県がん対策推進計画(第2次)中間評価

平成 28 年 12 月
沖縄県保健医療部健康長寿課

← 前回の中間評価書

- ・ 中間報告作業として良かった点は？
- ・ やり残したこと
(改善余地) は？

振り返りを踏まえた今回の評価でのポイント（例）

- どんな評価をするか、どのように実施するか、どこをだれがやるか、どの資源でやるかなどの骨格を決めること
- その際の基本方針と日程イメージを策定すること
- 主要な実作業をだれがやるのか調整すること
- セオリー評価では、その結果を踏まえて、ロジックと指標をどう補うかなど
- プロセス評価では、その結果を踏まえて、実行計画の作成と、実施体制の強化をどうしていくか
- 評価に必要な情報作成（患者調査、医療提供者調査、関係者ヒアリングなどの調査やまとめ）をどうするか
- データや意見に収集にとどまらず、「実質的な検討や熟議」を既存会議およびその他の機会でどのように行うか
- . . . など

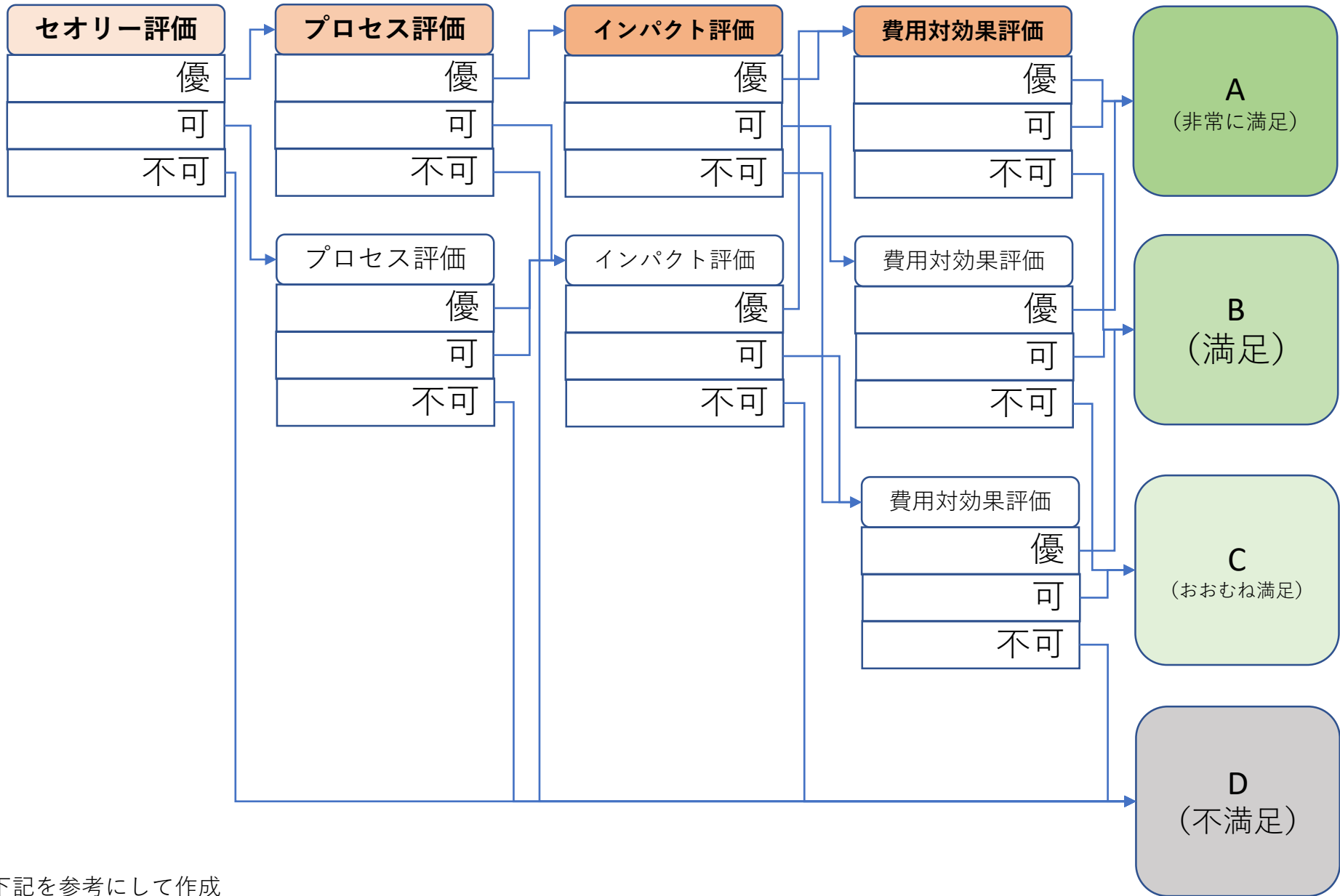
都道府県がん計画 中間評価カレンダーイメージ (例)

	県協議会	(内容)	連携協議会	(内容)	その部会	(内容)	県庁	備考(調査等)
2019年4月								
2019年5月			開催	枠組み議論				
2019年6月								
2019年7月	開催				開催	日程		
2019年8月			開催	評価予算推奨			評価予算	
2019年9月								調査開始
2019年10月	開催				開催	データ検討		
2019年11月			開催	データ集ドラフト				タウンミーティング
2019年12月								
2020年1月					開催	ヒアリング		
2020年2月			開催	ヒアリング結果		データ・ヒアリング結果まとめ		タウンミーティング
2020年3月	開催			データ集・ヒアリング結果まとめ				
	県協議会		連携協議会		その部会		県	備考(調査等)
2020年4月					開催	評価見解議論	審議資料集	
2020年5月			開催	評価見解審議			審議資料集	タウンミーティング
2020年6月	開催							
2020年7月					開催	後半活動と予算		
2020年8月			開催	中間評価/後半計画改訂				
2020年9月	開催	中間評価/後半計画改訂					予算	
2020年10月					開催	中間評価まとめ		
2020年11月			開催	中間評価/後半計画改訂まとめ				
2020年12月	開催	中間評価/後半計画方針まとめ						
2021年1月								
2021年2月			開催	後半改訂計画				
2021年3月	開催	後半改訂計画						

本年度

次年度

医療計画・がん計画における総合評価判定結果を得るための方法（例）

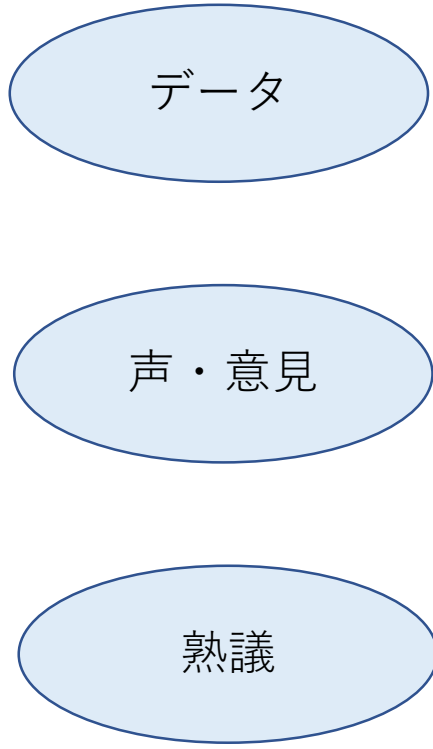


下記を参考にして作成

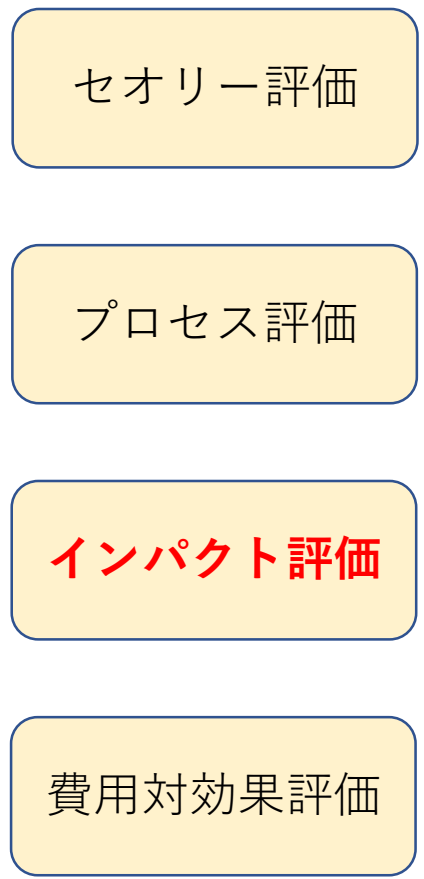
出典：2019年4月19日 佐々木亮さんスライド 「総合評価を得るための方法の例（フローチャート）」

出所：国際協力銀行（2006）『円借款事業評価報告書』

根拠、材料源

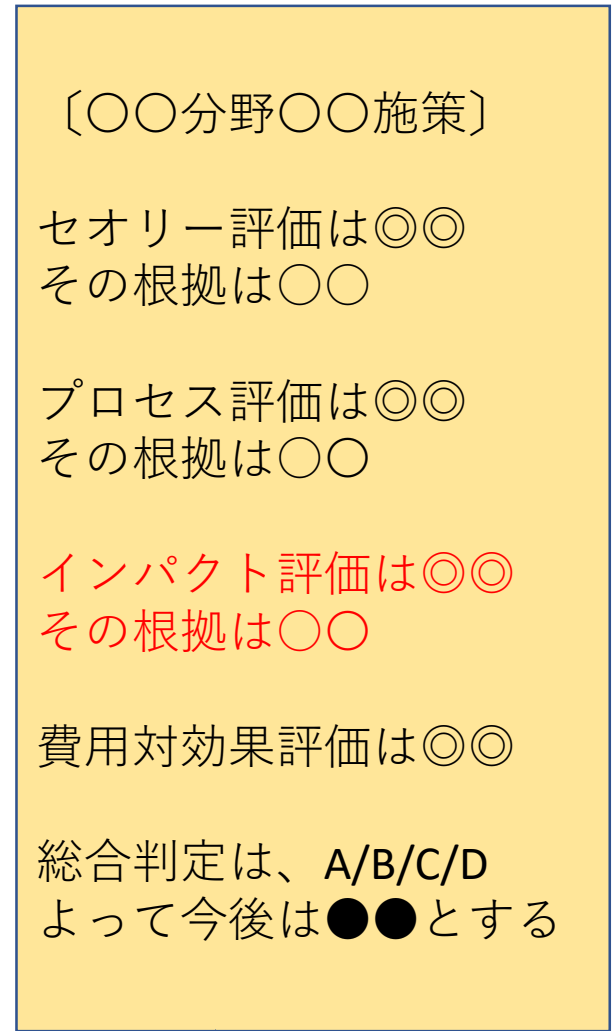


4つの軸



判定ロジック表

評価報告書文に落とす



評価なくして改善なし

がん対策の成果を患者まで届けよう!